

職員による自己評価

A環境面

・日々の教室内のメンテナンスを通して設備には注意している。

B児童への支援内容

・終業時にミーティングを行うことで当日中に支援の反省や今後の方向性等を話せる時間をもうけている。

C関係機関との連携

・コロナ禍という事で難しい点もあるが、少しずつ地域活動への参加や、交流の場を意識した活動を計画している。

D保護者への説明責任・信頼関係

・外出プログラムだけではなく、日々の療育の様子をブログにあげるように心掛けている。
・何か問題や心配、相談があった際にはすぐに対応、職員間の共有をしている。

E非常対応

・ミーティング等を通じて緊急時の対応の職員間での周知や反省・改善をしている。

保護者による評価

A環境面

・コロナ禍という事もありあまり教室の中までは入る機会が無いのでわからない。

B児童への支援内容

・季節ごとのイベントや外出など大変工夫されていると感じる。

C事業所からの情報発信

・情報共有をしたのに職員間の周知されていない事があった。
・連絡帳や送迎時など子どもの気付いた事をこまめに伝えていただいている。
・相談するといつも親身に寄り添ってご意見・アドバイスをいただいている。

D非常対応

・実践的な訓練を行っている。
・災害時等緊急時の子どもの引き渡し方法等を明確にしてほしい。

事業所内での分析

【共通点】

- ・固定化しないような室内・外出プログラムをミーティング等通じて計画している。
- ・保護者様とは日々の連絡帳でのやりとりや送迎時の報告を意識し、こまめな連携を取り合っている。

【相違点】

- ・情報の共有がなされてなかった。
- ・やっているとと思っていた事でも周知されていないことがある。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・日々の支援は集団行動の時間として行っているレクリエーションやソーシャルスキルトレーニングや体作り等を大切にしている。
- ・駅のすぐそばという立地を生かし、電車等の交通機関の利用の経験や買い物の機会を増やし、より実践的な療育も兼ねて計画している。

事業所の改善点

- ・情報共有がされていない事があった。
- ・活動の周知方法の見直し。

事業所の改善への取り組み

- ・情報の共有方法に関してはまずは当日の責任者・管理者→児発管→指導員という一連の報告の流れを徹底していく。
- ・定期的に行われていない為、思っている以上に周知されていない避難訓練等の活動は連絡帳や送迎時にお伝えすると共に HP のブログや活動の様子を写真でご報告する等のより幅広い方法で伝えていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

まずはお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございます。

今後に繋げられるように保護者様一つ一つのご意見を

職員と共有しながら改善・展開していきたいと思っております。

去年より今年、今年より来年と、より良いサービスができるよう引き続き精進していきます。

そしてお利用者様・保護者様が安心して利用できる環境を提供できるよう努めていきます。